

令和5年度 第2回第3次健康日本21旭川計画策定部会 会議録

○開催日時	令和5年10月6日（金）午後6時30分から午後7時30分まで
○開催場所	旭川市第二庁舎3階 問診指導室（旭川市7条通10丁目）
○出席者	参加者（8名） ・岩本洋子, 岡田政勝, 西條泰明, 嵯城俊明, 谷澄江, 長瀬まり, 長峯美穂, 藤田浩孝 （50音順・敬称略） 事務局（5名） ・保健所 向井地域保健担当部長 健康推進課 渡辺次長, 西島主幹, 秋場主査, 熊野
○傍聴者数等	0人（公開）
○会議資料 ・次第 ・資料1 ・資料2 ・資料2別紙 ・資料3 参考資料	分野別現状と課題及び取組の方向性について 分野別目標及び目標値について 分野別目標及び目標値 ライフステージ区分について 健康日本21（第三次）推進のための説明資料
○会議内容 1 開会 2 協議事項第1号 [部会長] [A委員] [B委員] [部会長] 協議事項第2号 [事務局]	協議事項, 資料についての説明 協議事項第1号「分野別現状と課題及び取組の方向性について」 資料1に基づき事務局から説明。 前回意見をいただいたCOPDの記載は喫煙に含め, 認知症については, 基本施策2に記載している。 また, 朝食の摂取については, 国の食育推進基本計画においても「朝食を欠食する国民を減らす」ことが目標として掲げられており, 若い世代の欠食が高いことが課題とされているとともに次世代に食育を繋ぐ担い手という観点からも欠食を減らすことが目標となっていることから, 本市においても朝食摂取率の増加については引き続き取り組んでいきたいと考えていることを説明する。 【意見】 説明があったとおり, 朝食について前回, 意見があった。朝食については欧米など, かなり肥満の方が多い国では, 朝食の欠食によってカロリーを減らす効果があるようだが, 日本では当てはまらないかと思うので朝食摂取率についてはこの通りで良いと思う。またCOPDについても喫煙の分野に記載されている。 次の段階になると思うが具体的に何を行うかが問題。市民がどう動くか, それに対して何をすることが重要で, 目標は目標でいいが次の施策についてはこれがいいのか悪いのかという検討が必要。 10ページ現状と課題の上から3行目, 市の健康に関する取組について40%が分からないとなっている。 先日, あさひかわ健康まつりを実施したが, 栄養士や歯科医師, 薬剤師会等いろいろな団体が集まってイベントを実施している。こういったイベントの実行委員会や団体とも繋がりを持ち, 縦だけでなく横の連携も図れれば市民への周知につながるのではないかと。 横のつながりについても意識してもらえればと思う。 協議事項第2号「分野別目標及び目標値について」 資料2及び資料2別紙に基づき事務局から説明。 本日欠席している委員から事前に意見をいただいている。 1点目は, 栄養・食生活の分野の食塩摂取量の目標値について, 男性13g未満を血圧のことを考えるともう少し下げるのが良いのではないかと。

	<p>2点目は、循環器病・糖尿病の分野の旭川市国保特定健診受診率の向上について、基準値から目標値である60%まで上げるためには、具体的な方策がなければ上がらない。他の市町村の取組を参考にしてくださいとの意見をいただいている。食塩摂取量の目標値につきましては、関連計画である第4次旭川市食育推進計画の指標と同様の数値とし、基準値である現状値を考慮し、実現可能な目標値として現状値から1割程度の減少とし、1日1gの減塩を心掛けてもらえるよう取組を進める。食育推進計画は、令和9年度までの計画となっているので、第4次計画の評価を踏まえ、本計画についても中間評価において、見直しを行う。</p> <p>国保特定健診の受診率の目標値については、国の示す第4期特定健康診査等実施計画に基づいて設定。現状の受診率と目標値が大きく乖離しているという現状もあるが、年々受診率は向上していることから、いただいた御意見のとおり、他市町村の取り組み等も参考にし、目標値に近づけるよう受診率向上に取り組んでいきたいと考えている。</p>
[C委員]	13gにしても十分に多い。国の目標値を考えると今の摂取量の約半分にしないで
[事務局]	味噌汁1杯でも減らせば、ということで市民にとって取り組みやすい、実現可能と思われる数値を採用している。
[C委員]	特定健診について、受診率が60%以上となればインセンティブが出るというのを市民にもっと周知すべきではないか。
[事務局]	皆さんが健診を受ければ保険料が下がりますとポスターで周知したこともある。まだ周知は足りないのかも知れない。
[C委員]	周知の取り組みを続けてほしい。
[A委員]	25ページの健康寿命について、健康寿命と平均寿命との差が2年くらいしかないが、今回は目標として載せないということか。
[事務局]	分野別目標ではなく、計画全体の目標として掲載する。国、道とは計算方法が違うので比較はできないが、経年変化を見ていきたい。また、KDBシステムを使うことで算出できる平均自立期間については、市町村が算出する健康寿命と同様の算出方法を使っており、国や道と比較できるものであるため、平均自立期間の数値も併せて変化を見ていきたい。
[A委員]	健康寿命は、他の自治体でも表現を工夫している。記載方法を検討して欲しい。がん検診受診率については、アンケートなどで目標値を設定するのではなく科学的な目標値を設定した方が良いのではないか。
[事務局]	国はアンケート調査で把握しているが、市は国保、被用者保険の家族等の実際の受診率を目標値としている。
[部会長]	市では、職域での検診や人間ドッグなど、実際に受診している人の全ての人の数値が取れないという状況はある。
[A委員]	塩分摂取の目標値について、国の数値を実現するのは難しいとは思いますが、未成年の飲酒、喫煙のようにゼロという目標値もある。
[事務局]	国保の特定健診の受診率も現実的には難しいと思う。
[事務局]	塩分摂取量は食育推進計画の数値に今は合わせているが、計画期間が違うので必ずしも同じにしないでいい。改めて目標値については検討する。
[C委員]	10年前も20年前も半分にするよう、同じ事を言っているのでもっと強く言っても良いのではないか。
[D委員]	減らすにはどう周知し、働きかけていくかが重要。野菜について350g以上とあるので食塩についても国に合わせた目標値にしても良いのではないか。日本人の食事摂取基準2020では、男性7.5g/日、女性6.5g/日である。
[事務局]	塩分摂取の目標値については再考したい。
[部会長]	評価を4段階から5段階に変更することについてはいかがか。
[D委員]	わかりやすくなって良いと思う。
協議事項第3号	協議事項第3号「ライフステージ区分について」資料3に基づき事務局から説明。
[C委員]	<p>【意見】</p> <p>あまり細かく区分するのはどうかと思うが、75歳が区切りになると思う。75歳までは痩せなさいというが、75歳からは少し太った方が長生きできる等、取組</p>

	<p>が変わってくる。糖尿病の治療においても高齢者の治療は低血糖にならないように注意が必要。75歳以上の区分を入れても良いのではないかな。</p> <p>[D委員] C委員に賛成。サルコペニア、フレイルは65歳よりも上の年齢での取組が重要になるので、分けて説明したほうが良い。日本人の食事摂取基準2020でも高齢者（65～74歳）、高齢者（75歳以上）は食事摂取基準が別に設けられている。</p> <p>[部会長] 私の考えは少し違う。これは健康づくりに関する計画だが、75歳以上は医療的な側面が大きくなる。</p> <p>[C委員] 内科的疾患は医療に任せるのでなく、本人の心がけや何をするかが重要。</p> <p>[事務局] 病気にかかったとしても重症化させずQOLを維持させるという視点も出てきているので、その対応も必要かと思うが、全ての分野の中に75歳で区切りを入れるかは検討が必要。</p> <p>[C委員] どのような形で記載していくか検討したい。</p> <p>[事務局] 前回話題にあった認知機能についても75歳以上の世代で加味する必要がある。分野毎に前期、後期高齢者とで取組が分かれるものについては取組の記載で分けていくなど工夫したい。</p> <p>[部会長] 青年期や壮年期の名称についても市民にわかりやすい表記になっているか意見をいただきたい。</p> <p>[部会長] 確かに青年期が39歳までと言うのはあるが、名称を何に変えるべきかという問題もある。</p> <p>[A委員] 青年会議所は39歳までとなっている。</p> <p>[部会長] そういう使い方ができるのであれば青年期でも良いのではないかな。</p> <p>[事務局] 学齢期については義務教育を想像するところでもあるが、学校に通っている世代として学齢期としたがどうか。</p> <p>[E委員] 高校生が学齢期というイメージはないがひとつに区切るとなると仕方ないのではないかな。</p> <p>[C委員] 文章であれば区分に年齢も併記すれば問題ない。</p> <p>[A委員] 青年という言葉も古い。成人という言葉もある。</p> <p>[事務局] 成人前期、成人後期としている自治体もある。</p> <p>[E委員] いずれにしても括弧書きで年齢について記載するのであればそんなに問題にはならない。</p> <p>[B委員] 重要なのは取組や目標であり、区分については括弧書きするなら問題ない。</p> <p>[部会長] 区分に年齢の括弧書きをつけると、シニア期の75歳以上については取組毎に記載を工夫するという形で問題ないかな。</p> <p>(一同承認)</p> <p>[部会長] そのほかに全体を通して意見はないかな。</p> <p>[C委員] 学齢期に注力して欲しい。</p> <p>[部会長] 生活習慣が確立されるのが学齢期なので、学齢期でしっかりとした生活習慣を身につけ、身につけた大人が乳幼児期に教えていける。ぜひ飲み込みも早い学齢期をターゲットにして施策を重点的に実施して欲しい。</p> <p>[部会長] 学齢期や妊娠期の生活習慣を正していくことは重要。</p>
3	<p>その他</p> <p>事務局から次回の開催日程について、11月上旬の開催を予定しており、会議録の確認と合わせ、日程調整を行うこと、また、12月下旬から1月下旬にパブリックコメントを実施し、第4回はパブリックコメント後の2月頃を予定していることについて連絡を行う。</p>
4	<p>閉会</p>